

令和2年度 蜂ヶ岡中学校ブロックの小中一貫教育

蜂ヶ岡地域小中一貫教育目標

夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く子の育成

小中一貫教育を通じて育てたい子ども像

- *主体的に学びに向かう子（主体性）
- *社会の一員として、自己の責任を果たす子（社会性）
- *未来に向けて夢や志を持ち、実践する子（実践力）

今の子どもの生活背景

情報入手が容易な時代であるため、正しい判断や行動ができる必要がある。また、人との繋がりが広域化・多様化しているため課題克服が困難なことも予想される。社会に目を向け、積極的に関わることが大切な時代と考える。

☆児童、生徒の取組

生徒会・児童会連携

授業体験

部活動見学

部活動体験

チャレンジ体験

6年保護者入学説明会

蜂ヶ岡中学校

★教育目標
人とのつながりを大切にし、たくましく生き抜く生徒の育成

★めざす生徒像
*考えが表現でき、課題解決に向かう生徒
*相手の立場に気づき、より良い人間関係を築く生徒
*進んで心身を鍛える生徒

★小中一貫教育の取組
①小中学校9年間の各教科・各領域（人権・道徳・校外学習等）の連続性・系統のある指導方法や形態など研究し、相互に工夫・改善を図る。
②各小学校の児童会や生徒会との交流、中学校の部活体験など行い、交流を深める。
③小中学校の教職員間で相互の授業を参観し、小中合同研修会を行い、小中間の連携を図る。

小中三校校長会

小中三校主任会

小中連携

小中連携主任会

小中研究主任会

小中生徒指導主任会

☆教職員の取組

小中連絡会

合同研修会

生徒会・児童会
担当者会議

学力分析

総合育成支援教育連携

進路指導情報交換

英語教育推進

社会の変化

学校運営協議会

PTA

「保護者の願い」「地域の願い」「社会の願い」

キャリア教育を軸とした取組・活動

義務教育卒業時につけたい力								
夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く力の育成								
・主体的に学びに向かう子ども（主体性）								
・社会の一員として自己の責任を果たす子ども（社会性）								
・未来に向けて夢や志を持ち、実践する子ども（実践力）								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
・自分の考えをみんなの前で話すことができる。		・自分のよさをみつけ、友達のよさを認め、励まし合って活動 する。		・あこがれの職業をもち、今やるべきことを考えようとする。		社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を身につけ、進路の選択・決定をする		
・準備や後始末、時間などのきまりを守って行動する。		・日常生活や学習が将来の生き方と関係があることに気づくことができる。		・身近な産業・職業の様子や変化が分かり、将来の夢や希望をもって学習・活動に取り組むことができる。				
・大きくなったらこうしたい、こうなりたいという自分の願いや思いをもつことができる。				・思いやりの心と集団生活の向上を目指して、気づき、考え、行動する。				
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動		小学校の取組				＜蜂ヶ岡中学校の取組＞		
学校探検で、学校にいる人々に関心を持ち、いろいろな人と関わる楽しさを味わう。	自分の住む地域を探検する活動を通して、いろいろな仕事に従事している人に接し、たくさんの方に見守られていることに気付く。	スーパーマーケットを見学し、そこで働く人にお客さん にインタビューしたりする活動を通して社会とのつながりに気付く。	2 分の 1 成人式や、ものづくり体験学習を通して、自分のよさをふりかえり、将来の自分の夢について考える。	スチューデントシティ学習を通して、いろいろな仕事の様子がわかり、将来の働き方について考える。	蜂ヶ岡中学校のオープンスクールや部活動体験に参加し、進学後への希望をもつ。 委員会や運動会係活動など集団としてのよりよい向上を目指して考え、行動する。	キャリア講話により、仕事を知り、自己未来の創造の一步とする。	生き方探究 チャレンジ体験事業 保幼交流 ぶんぶん ワールド	上級学校への興味 関 心 を 高 め る。 上級学校の授業を受けさせ自分の進路に意欲を持たせる。 上級学校の知識を得る。
						赤ちゃん交流		
＜中学校ブロックとしての取組＞ 蜂ヶ岡中学校ブロックにおけるキャリア教育全体計画の実践						さまざまな職種の専門的な方から話を聞く中で、新たな発見を見いだし、興味 関 心 を 広 げ る。	地域の施設や企業との交流や実地 体 験 を 通 し て、自己の適性や将来の仕事について考えさせる。	自己未来について考察を深め、一人ひとりのキャリア発達の契機とする。
・それぞれの取り組みを、3校で共通理解し、よりよい実践について検討する。								
・児童会活動、生徒会活動と連動してできることを模索していく。								
・夏季合同研修会などで、実践交流を行い、研修を深める。								
・合同の学校運営協議会の協力を求めながら、地域の行事やボランティア活動などを積極的に推進する。								
・全体計画について検討し、9年間を見通したカリキュラムを作成する。小小は共通して取組めるものは共通して実践する。								

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
聞き方・話し方	話をする人の方を見て聞く 声のものさしを意識して話す 発表するときは口を開けてはっきりと話す		傾くなどして自分の考えと比べながら聞く 相手や場にあった話し方をする 友達の考えに付け足したり質問したりして話す		必要に応じてメモを取りながら聞く 目的や意図を明確にして話す 話し合ったことをまとめたり要約したりして話す		正しい姿勢で自分の考えと比べながらメモを取るなどして聞く 相手の意見や考えを受けて、自分の考えを的確にわかりやすく話す		
書き方・ノート作り	正しく丁寧な字で書く 行をかえて見やすく書く		大事なところは線を引いたり色を変えたりして書く マス目や行を程よく開けて見やすく書く		丁寧な字で見やすいノートを作る 絵や図、吹き出しなどを適切に使いながらわかりやすくまとめる		学習内容を整理し、見直しに活用できるノート作りをする 学習のポイントや大切だと感じたことを付け加えるなどして見やすくわかりやすくまとめる		
挨拶と言葉遣い	誰に対しても挨拶や返事を大きな声でする 「さん」を付けて友達を呼ぶ 友達の気持ちを考えた言葉づかいをする				誰に対しても気持ちの良い挨拶や返事をする 友達を呼び捨てにしない 自他の人格を尊重するために、正しい言葉づかいをする			場の状況や相手の状態を考えて 気持ちの良い挨拶をする 敬語を適切に使って正しい言葉づかいで話す	
目指す家庭学習	学習時間のめやす 15～30 分		学習時間のめやす 45～60 分		学習時間のめやす 75～90 分		学習時間のめやす 2 時間～3 時間		
	○宿題 ・音読 ・漢字、計算（ドリル・プリント）		○宿題 ○自主学习 ・音読 ・漢字、計算（ドリル・プリント）		○宿題 ○自主学习 ・音読 ・漢字、計算（ドリル・プリント）		○宿題 ○自主学习 ・教科書、資料集、プリント活用し予習復習 ・ドリルを使った基礎固め ・ワークを使った復習 ・定期テストへ向けた学習 ・進路実現に向けた 3 年間の総復習 ・興味あることの発展学習		

